

①上位の政策名	政策目標2 確かな学力の向上、豊かな心と健やかな体の育成と信頼される学校づくり	
②施策名	施策目標2-4 青少年の健全育成	
③主管課 及び関係課 (課長名)	(主管課) スポーツ・青少年局青少年課 (課長:安間 敏雄) (関係課) スポーツ・青少年局参事官(青少年健全育成担当) (参事官:東 修司)	
④基本目標 及び達成目標 ア= 想定した以上に達成 イ= 想定どおり達成 ウ= 一定の成果が上が っているが、一部 については想定ど おり達成できなかつ た エ= 想定したどおりに は達成できなかった ア= 想定した以上に順 調に進捗 イ= 概ね順調に進捗 ウ= 進捗にやや遅れが見 られる エ= 想定したどおりに は進捗していない	基本目標2-4 (基準年度:14年度 達成年度:20年度) 青少年の心と体の健全な発展を促し、自主性・社会性や正義感・倫理観を持った豊かな人間性を育むため、青少年の自立への支援、青少年を取り巻く有害環境対策の推進、自然体験活動の充実、子どもの読書活動の推進、青少年の国際交流の促進等により、青少年の健全な育成を推進する。 【達成度合い(進捗状況)の判断基準】 ア=1つ以上の達成目標において「想定した以上に達成」「想定した以上に順調に進捗」との達成度合いがみられ、その他の達成目標において、「想定どおり達成」、「概ね順調に進捗」との達成度合いがみられる。 イ=すべての達成目標において、「想定どおり達成」、「概ね順調に進捗」との達成度合いがみられる ウ=達成目標の一部に、「一定の成果があがっているが、一部については想定どおり達成できなかった」「想定どおり達成できなかった」等との達成度合いが見られる。 エ=すべての達成目標において、「概ね順調に進捗」、「想定した以上に達成」との達成度合いが見られない。	達成度合い又は進捗状況 一定の成果が上がっているが、一部については想定通り達成できなかった。
	達成目標2-4-1(再掲) (基準年度:16年度 達成年度:20年度) 青少年の自主性や社会性等を育む、青少年の自立のための支援体制の整備を推進する。 【達成度合い(進捗状況)の判断基準】 ア=青少年の自主性や社会性等を育む、青少年の自立のための支援に向けた取組を推進する地域が昨年度まで実施していた類似事業取組地域から、3割以上増加した。 イ=青少年の自主性や社会性等を育む、青少年の自立のための支援に向けた取組を推進する地域が昨年度まで実施していた類似事業取組地域から、1割以上増加した。 ウ=青少年の自主性や社会性等を育む、青少年の自立のための支援に向けた取組を推進する地域が昨年度まで実施していた類似事業取組地域から、やや増加した。 エ=青少年の自主性や社会性等を育む、青少年の自立のための支援に向けた取組を推進する地域が昨年度まで実施していた類似事業取組地域から、増加しなかった。	想定した以上に達成
	達成目標2-4-2(基準年度:16年度 達成年度:20年度) 青少年を取り巻く有害環境対策を推進するため、青少年の情報活用能力の育成、問題性や注意事項等についての啓発、地域で有害環境から青少年を守る取組を推進する。 【達成度合い(進捗状況)の判断基準】 ア=青少年を取り巻く有害環境対策の推進体制の整備や地域における有害環境対策の取組を推進する地域が前年に比し、3割以上増加した。 イ=青少年を取り巻く有害環境対策の推進体制の整備や地域における有害環境対策の取組を推進する地域が前年に比し、1割以上増加した。 ウ=青少年を取り巻く有害環境対策の推進体制の整備や地域における有害環境対策の取組を推進する地域がやや増加した。 エ=青少年を取り巻く有害環境対策の推進体制の整備や地域における有害環境対策の取組を推進する地域が増加しなかった。	想定した以上に達成
	達成目標2-4-3(基準年度:14年度 達成年度:18年度) 自然体験機会を得た青少年の割合を、維持し又は増加させるための取組を推進する。 【達成度合い(進捗状況)の判断基準】 ア=自然体験機会を得た青少年の割合や自然体験活動に係る指導者登録制度の新規登録数、自然体験活動に資する場所の登録件数が、前年に比し、3割以上増加した。	一定の成果が上がっているが、一部については想定通り達成できなかった。

	<p>イ＝自然体験機会を得た青少年の割合や自然体験活動に係る指導者登録制度の新規登録者数、自然体験活動に資する場所の登録件数が前年に比し、1割以上増加した。</p> <p>ウ＝自然体験機会を得た青少年の割合や自然体験活動に係る指導者登録制度の新規登録者数、自然体験活動に資する場所の登録件数が、前年に比しやや増加した。</p> <p>エ＝自然体験機会を得た青少年の割合や自然体験活動に係る指導者の登録制度の新規登録者数、自然体験活動に資する場所の登録件数が、増加しなかった。</p>	
	<p>達成目標 2-4-4 (基準年度：15年度 達成年度：19年度) 子どもの読書活動に関する社会的機運の醸成を図るとともに、地域における子どもの読書活動推進体制の整備を推進する。</p> <p>【達成度合い(進捗状況)の判断基準】</p> <p>ア＝子どもの読書活動推進計画を策定した自治体が前年に比し、5割以上の増加した。</p> <p>イ＝子どもの読書活動推進計画を策定した自治体が前年に比し、3割以上増加した。</p> <p>ウ＝子どもの読書活動推進計画を策定した自治体前年に比し、やや増加した。</p> <p>エ＝子どもの読書活動推進計画の策定した自治体前年に比し、増加しなかった。</p>	<p>想定した以上に達成</p>
	<p>達成目標 2-4-5 (基準年度：16年度 達成年度：20年度) 青少年の国際交流を通じ、我が国及び各国における青少年及び青少年育成指導者相互間の理解の向上を図るための取組を推進する。</p> <p>【達成度合い(進捗状況)の判断基準】</p> <p>ア＝青少年等を派遣・招へいした人数が前年に比し、3割以上増加した。</p> <p>イ＝青少年等を派遣・招へいした人数が前年に比し、増加した。</p> <p>ウ＝青少年等を派遣・招へいした人数は前年と同程度であった。</p> <p>エ＝青少年等の派遣・招へいは前年に比し、減少した。</p>	<p>想定通り達成</p>
<p>⑤現状の分析と今後の課題</p> <p>各達成目標の達成度合い又は進捗状況(達成年度が到来した達成目標については総括)</p>	<p>達成目標 2-4-1 【平成17年度の達成度合い】 青少年の自主性や社会性等を育む、青少年の自立のための支援の体制を整備するため、平成17年度から36都道府県教育委員会等に「青少年長期社会体験活動」や「子どもの主体性をはぐくむ体験活動」を推進するためのモデル事業等を委託した。平成16年度までに実施していた類似事業の取組地域の16カ所に比べ倍以上の主体が取り組んでいるところであり、想定した以上に達成している。なお、事業の参加者の中には、問題行動がなくなった、社会参加に向け準備を始めたなどの事例報告を受けている。この他の課題や成果は、現在分析しているところである。</p> <p>達成目標 2-4-2 【平成17年度の達成度合い】 青少年を取り巻く有害環境対策を推進するため、平成16年度から地域における推進体制の整備を図るモデル事業や調査研究を実施している。平成16年度においては、全国11カ所において推進体制を整備したが、平成17年度においては17カ所(55ポイント増加)に整備するとともに、関係省庁との会議に多数出席するなど、関係機関との連携も進んでおり、想定した以上に達成している。</p> <p>達成目標 2-4-3 【平成17年度の達成度合い】 自然体験機会を得た青少年の割合を、維持し又は増加させるための取組を推進した結果、自然体験活動に関して一定の基準を満たした指導者の登録者数が平成16年度の2,841人から平成17年度の3,194人に増加した(基準年度の平成14年度からは777人増加)。また、自然体験活動に資する場所については、自然体験に資する3種のプロジェクトの登録件数によって達成状況を確認しており、平成16年度の313カ所から平成17年度の337カ所への増加した(基準年度の平成14年度からは120カ所増加)。 ただし、自然体験機会を得た青少年の割合について平成16年度調査と平成17年度調査を比較すると、減少しており、特に、公的機関や民間団体等が行う活動以外における自然体験活動の参加割合の減少が顕著である。 以上のことから、当該目標については一定の成果が上がっているものの、一部については想定通り達成できなかった。</p> <p>達成目標 2-4-4 【平成17年度の達成度合い】 「子どもの読書活動の推進に関する法律」第9条により、都道府県及び市町村は、それぞれ「子ども読書活動推進計画」を策定するよう努めなければならないとされている。平成17年度末時点で、46都道府県(平成16年度においては45都道府県)、市町村においては昨年より110市町村増えて294市町村(平成16年度においては184市町村で、約60ポイント増加)が策定しており、想定した以上に達成されている。</p> <p>達成目標 2-4-5 【平成17年度の達成度合い】 平成17年度においては、我が国の青少年等をドイツに88人(平成16年度は33人)、韓国</p>	

に 29 人（平成 16 年度は 56 人）派遣するとともに、アメリカから 41 人（平成 16 年度は 41 人）、イギリスから 18 人（平成 16 年度は 18 人）、ドイツから 80 人（平成 16 年度は 62 人）、韓国から 30 人（平成 16 年度は 60 人）の青少年等を受け入れており、全交流者は平成 16 年度の 270 人から約 6 ポイント上昇し 286 人となった。これにより我が国及び各国における青少年、青少年育成指導者相互の理解度が向上したと考えられ、目標は想定通り達成されている。

施策目標（基本目標）の達成度合い又は進捗状況

【平成 17 年度の達成度合い】

平成 17 年度においては、青少年の自立のための支援体制を整備するとともに、地域における青少年の有害環境対策に向けたモデル事業や調査研究も質量ともに充実しているところである。また、子ども読書活動推進のためのフェスティバル等を開催し、地域の子どもの読書活動計画の策定が進んだことにより、読書活動の体制は推進した。そして、青少年の国際交流が進み、我が国及び各国における青少年及び青少年育成指導者相互間の理解が向上するなど、青少年の健全育成のための体制を整備する取組は進んだ。ただし、実際に自然体験活動を経験した青少年の割合は減少しており、必ずしも青少年の健全育成が推進したとは言い切れない。

今後の課題（達成目標等の追加・修正及びその理由を含む）

達成目標 2-4-1

目標設定初年度の取組であるため、今年度も目標を達成するための取組を継続して取り組むことが重要であるが、その際、当目標に関する施策の周知に努めるなど初年度において明らかになった課題について改善策を反映させることが必要。

達成目標 2-4-2

平成 16 年度からの施策の効果を維持しつつ、更に国民への理解促進と関係機関・団体との連携が必要という課題が明らかになった。

達成目標 2-4-3

平成 18 年度が達成年度にあたるものの、既存の諸施策を講じてもなお、青少年の自然体験活動が減少傾向にあり、成果が上がったとは言いきれない。特に、家庭など公的機関や民間団体等によらない体験活動の減少が顕著である。したがって、今後は、減少傾向の実態をより精査に分析し、それに基づき対応策を検討・検証する。

達成目標 2-4-4

「子ども読書活動推進計画」を策定した地方公共団体の数は、全体として増加しているものの、未策定の市町村も多く、計画策定を一層推進するとともに、子どもの読書活動についての関心と理解を深めていく必要がある。ただし、子どもの読書活動についての関心度、理解度の向上については、「子どもの読書活動の推進に関する法律」における附帯決議にあるように、子どもの自主性を尊重するような取組を推進することが重要である。

達成目標 2-4-5

青少年の国際交流を進めていくことは重要であり、引き続き、青少年等の海外派遣・日本招へいを進めていくことが必要である。

以上の他、青少年育成大綱（平成 15 年 12 月青少年育成対策推進本部決定）に記載されているように、青少年の社会的自立の遅れや少年非行等社会的不適応の増加が社会問題になっており、広く青少年の社会的自立や不適応への対応として、青少年の意欲の向上をはじめとする自立支援が急務になっているところである。

評価結果の 18 年度以降の政策への反映方針

達成目標 2-4-1

今後さらに青少年の自立のための支援体制を整備するために、既存モデル事業への支援、当該成果の普及、調査研究委託地域・団体等の開拓などに取組む。また、都市と農村の共生・交流や環境学習等の関連施策との連携も検討していきたい。

達成目標 2-4-2

青少年を取り巻く有害環境の対策を一層推進するため、科学的知見に基づく調査研究などの成果を踏まえて、モデル事業の支援、成果の普及を図るとともに、関係業界、関係省庁との連携をより一層進めていきたい。

達成目標 2-4-3

自然体験機会を得た青少年の割合は、全体的に減少傾向にあるが、特に学校・青少年教育団体を通じて行う活動に比して、家族や友人と行う活動の落ち込みが激しい。このため、学校・青少年団体において行われる自然体験活動をより一層推進するとともに、広報・啓発を通じての自然体験活動の重要性についての認識を涵養することが必要。

達成目標 2-4-4

広く子どもの読書活動についての関心と理解を深めるため、引き続き社会的機運の醸成に向けた一層の取組を推進するとともに、都道府県及び市町村に対し、「子ども読書活動推進計画」を早期に策定するよう、機会を捉えて働きかける。

達成目標 2-4-5

平成 17 年の年日・EU 市民交流年の取組等を踏まえ、引き続き、青少年等の国際交流の推進を図る。

以上の他、青少年育成施策大綱（平成 15 年 12 月青少年育成推進本部決定）等を踏まえ、青少年の社会的自立や社会的不適応の増加に対応した青少年の意欲の向上のための施策等の充実が必要である。

⑥指標	指標名	13	14	15	16	17
	青少年の自立支援事業の委託先 (達成目標2-4-1関係) ※平成16年度までは「悩みを抱える青少年を対象とした体験活動推進事業」		(14箇所)	(15箇所)	(15箇所)	36箇所
	青少年を取り巻くメディア上の有害情報対策の推進事業委託先(達成目標2-4-2関係)				11箇所	17箇所
	自然体験を得た青少年の割合 (達成目標2-4-3関係)	別紙参照	別紙参照	別紙参照	別紙参照	別紙参照
	自然体験活動の指導者の養成・登録制度 (達成目標2-4-3関係)	登録済みの指導者の検索用HPの運用を開始。また、インストラクター、コーディネーター、トレーナーの養成・登録に関する調査を実施	インストラクター、コーディネーター、トレーナーの登録を開始	トレーナー2種のカリキュラムを作成・実施	トレーナー2種のカリキュラムを整備した。養成の講師の選定を基盤を構築	
	新規登録の指導者数(年間)	9,297人	2,417人	4,237人	2,841人	3,194人
	自然体験活動に資する場所の登録件数 (達成目標2-4-3関係)	127件	217件	254件	313件	337件
	子どもの読書活動推進計画の策定状況 (達成目標2-4-4関係)		5都府県17市町村	40都道府県49市町村	45都道府県184市町村	46都道府県294市町村
	海外に青少年を派遣、招へいた国・人数 (達成目標2-4-5関係)	3国(米、英、独)178人	3国(米、英、独)158人	3国(米、英、独)179人	4国(米、英、独、韓)270人	4国(米、英、独、韓)286人
参考指標						
⑦評価に用いたデータ・資料・外部評価等の状況						
⑧主な政策手段 (過去に新規・拡充事業評価を実施し、平成18年度が達成年度が到来する事業については総括)	政策手段の名称 (上位達成目標 [17年度予算額])	政策手段の概要		17年度の実績 (得られた効果、効率性、有効性等)		
	「青少年の自立支援事業」 (達成目標2-4-1) [174,521千円]	青少年が自立した人間として成長することを支援するため、青少年の主体性・社会性をはぐくむ社会体験や自然体験等の体験活動を推進する。		平成17年度においては、36箇所事業が実施された。		
	「青少年を取り巻く有害環境対策の推進」 (達成目標2-4-2) [58,700千円]	青少年を取り巻くメディア上の有害情報対策をより一層推進する観点から、地域における推進体制の整備を図るモデル事業を実施するとともに、全国的な啓発活動及び所要の調査研		平成17年度においては、15都道府県において青少年を取り巻く有害環境対策を推進する体制が整備された。 なお、平成17年12月に関係省庁連絡会議でとりまとめられた『犯罪から子どもを		

	究を実施する。	守るための対策』等により、有害情報対策の必要性、有害情報対策の連携の強化が重視される中、当初3ヶ年の予定であった当該事業は、5年に延長されることとなった。このため、達成目標2-4-2の達成年度も20年度と変更することとする。
「省庁連携子ども体験型環境学習推進事業」 (達成目標2-4-3) [93,329千円]	子どもたちの豊かな人間性をはぐくむため、関係省庁と連携して、地域の身近な環境をテーマに、子どもたちが自ら企画し、継続的な体験学習を行う事業の実施を通して、体験型学習を推進する。	平成17年度においては、関係6省庁と連携しつつ、35箇所で開催された。
独立行政法人国立オリンピック記念青少年総合センター等による青少年の自然体験活動等に関する業務の実施 (達成目標2-4-3) [13,468百万円]	独立行政法人国立オリンピック記念青少年総合センター、独立行政法人国立青年の家、独立行政法人国立青少年自然の家において、立地条件や各施設の特徴を生かした自然体験活動等の機会と場の提供等を行うとともに、その成果を公立の青年の家や青少年自然の家等に広く普及した。また、独立行政法人国立オリンピック記念青少年総合センターに創設された「子どもゆめ基金」により、民間団体が実施する自然体験活動等への支援を行った。	平成17年度においては、国立青少年教育施設計28施設において、自然体験活動等の機会と場の提供等が行われるとともに、「子どもゆめ基金」において、青少年教育に関する団体が行う815件の自然体験活動が採択された。
「全国子ども読書活動推進キャンペーン」 (達成目標2-4-4) [96,160千円]	「子ども読書活動の推進に関する法律」に基づく政府の「子ども読書活動の推進に関する基本的な計画」を踏まえ、子どもが自主的に読書活動を行うことができるよう、環境の整備を図るとともに、施策の総合かつ計画的な推進を図る。	平成17年度においては、都道府県・市町村、小・中・高等学校等、社会教育施設等(図書館、公民館、青少年教育施設等)へ読書活動を啓発するためのポスターを配布するとともに、2県においてフェスティバルを実施した。
「青少年交流推進事業」 (達成目標2-4-5) [58,187千円]	我が国の青少年の海外派遣・海外の青少年の日本招へいを行い、両国の青少年の共同体験活動、各国の伝統・文化の体験活動などの交流事業を実施。	平成17年度においては、計4カ国286人の青少年等の派遣・招へいを行った。
⑨備考		
⑩政策評価担当部局の所見	<p>※子供の読書活動についての関心度、理解度が高まったかどうかの観点から、どのような効果が上がっているかを把握するための指標を設定すべき。</p> <p>※有害環境対策に関する啓発が進んだかの観点から、どのような成果が上がったかを把握するための指標を設定することを検討すべき。</p> <p>※青少年及び青少年育成指導者相互の認知度、理解度が向上したかの観点からどのような成果が上がっているのか把握するための指標を設定することを検討すべき。</p>	

【平成14, 15, 16, 17年度調査】

(別紙)

- 子どもが公的機関や民間団体等が行う自然体験活動に関する行事に参加したか。(保護者調査)

1学期中の休みの日

	小1	小2	小3	小4	小5	小6
⑭参加した	37.5	40.8	42.2	43.5	41.9	41.9
⑮参加した	36.8	39.1	41.1	40.2	44.2	39.1
⑯参加した	37.2	38.2	38.9	42.5	41.5	39.3
⑰参加した	32.6	36.0	36.7	37.8	37.1	36.6

夏休み

	小1	小2	小3	小4	小5	小6
⑭参加した	39.3	43.5	45.2	47.3	45.1	46.3
⑮参加した	41.0	41.0	44.0	43.7	46.8	42.5
⑯参加した	39.0	40.6	40.3	44.5	40.9	41.9
⑰参加した	35.5	37.2	39.0	41.3	40.7	40.2

2学期中の休みの日

	小1	小2	小3	小4	小5	小6
⑭参加した	37.3	40.9	41.1	42.1	39.5	39.9
⑮参加した	37.3	38.9	40.1	41.5	41.9	38.2
⑯参加した	36.1	36.5	38.4	41.7	37.7	37.1
⑰参加した	36.1	36.5	39.4	39.7	37.0	36.7

冬休み

	小1	小2	小3	小4	小5	小6
⑭参加した	19.7	19.9	20.5	20.9	19.2	21.2
⑮参加した	18.3	18.2	19.4	19.7	21.4	19.8
⑯参加した	18.3	17.6	19.5	22.0	20.4	20.8
⑰参加した	16.2	17.5	18.8	21.1	17.7	18.5

- 子どもが公的機関や民間団体等が行う活動以外で、家族や友達などと一緒に自然体験活動をしたか。

(保護者調査)

1学期中の休みの日

	小1	小2	小3	小4	小5	小6
⑭行った	52.6	51.6	47.6	42.7	40.3	34.2
⑮行った	49.3	48.6	45.7	40.1	35.5	29.4
⑯参加した	52.0	50.2	46.5	38.9	36.4	30.6
⑰参加した	42.4	41.6	40.3	34.7	32.5	28.1

夏休み

	小1	小2	小3	小4	小5	小6
⑭行った	66.5	66.0	61.3	60.3	56.2	48.1
⑮行った	63.8	62.4	60.9	54.5	50.9	44.0
⑯参加した	66.5	63.3	61.1	54.8	52.6	45.1
⑰参加した	53.1	53.0	50.6	45.9	44.6	39.7

2学期中の休みの日

	小1	小2	小3	小4	小5	小6
⑭行った	40.4	38.7	33.9	29.5	26.5	22.6
⑮行った	39.1	37.6	35.0	28.7	25.9	20.8
⑯参加した	39.0	36.9	34.2	27.6	25.6	20.5
⑰参加した	32.1	31.2	29.1	24.6	20.3	18.2

冬休み

	小1	小2	小3	小4	小5	小6
⑭行った	28.0	25.2	22.4	20.0	17.9	16.7
⑮行った	24.4	23.9	21.8	19.2	18.3	15.0
⑯参加した	27.4	25.9	23.3	19.7	20.4	16.6
⑰参加した	22.7	20.6	20.9	17.6	15.3	11.6

「青少年の自然体験活動等に関する実態調査」報告書(平成18年4月)
独立行政法人国立青少年教育振興機構

施策目標2-4(青少年の健全育成)

平成17年度の実績評価の結果の概要

